

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年9月20日(2012.9.20)

【公開番号】特開2011-33986(P2011-33986A)

【公開日】平成23年2月17日(2011.2.17)

【年通号数】公開・登録公報2011-007

【出願番号】特願2009-182548(P2009-182548)

【国際特許分類】

G 03 G 9/08 (2006.01)

G 03 G 9/087 (2006.01)

【F I】

G 03 G 9/08

G 03 G 9/08 3 6 5

G 03 G 9/08 3 7 2

G 03 G 9/08 3 8 4

G 03 G 9/08 3 1 1

G 03 G 9/08 3 7 4

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月6日(2012.8.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記目的を達成するため、結着樹脂、着色剤および離型剤を少なくとも含有するトナー粒子を有するトナーにおいて、

該トナー粒子の平均円形度が0.965以上1.000以下であり、且つ、該トナー粒子のBET比表面積が1.00m²/g以上3.50m²/g以下であり、

該トナー粒子とポリカーボネート樹脂を含有する平板との付着力(nN)が2nN以上90nN以下であることを特徴とするトナーを提供するに至った。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0186

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0186】

<トナーの帯電性の環境安定性評価>

二成分現像剤を常温低湿環境(23 / 5%)の環境下で1昼夜放置し、その後50ccのポリ容器に入れ、1分間かけて200回振とうさせる。次いで前述に記載の手段で摩擦帯電量を測定し、得られた帯電量を帯電量L(mC/kg)とした。さらに、該二成分現像剤を高温高湿環境(30 / 80%)の環境下で1昼夜放置し、その後50ccのポリ容器に入れ、1分間かけて200回振とうさせ、同様の方法で測定した帯電量を帯電量H(mC/kg)とした。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

結着樹脂、着色剤および離型剤を少なくとも含有するトナー粒子を有するトナーにおいて、

該トナー粒子の平均円形度が0.965以上1.000以下であり、且つ、該トナー粒子のBET比表面積が $1.00\text{ m}^2/\text{g}$ 以上 $3.50\text{ m}^2/\text{g}$ 以下であり、

該トナー粒子とポリカーボネート樹脂を含有する平板との付着力(nN)が 2 nN 以上 90 nN 以下であることを特徴とするトナー。

【請求項 2】

該トナー粒子の表面が樹脂微粒子で覆われていることを特徴とする請求項1に記載のトナー。

【請求項 3】

該トナー粒子が、重合性単量体、着色剤および離型剤を少なくとも含有する重合性単量体組成物を水系媒体中に投入し、造粒を行い、水系媒体中で該重合性単量体を重合することにより得られる芯粒子と、該芯粒子の表面に樹脂微粒子を固着させて形成した外殻によって構成されることを特徴とする請求項1または2に記載のトナー。

【請求項 4】

該トナー粒子に対し 0.05 質量\% 以上 0.50 質量\% 以下の無機微粒子を外添してなることを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載のトナー。

【請求項 5】

静電荷像担持体を帯電し、帯電された静電荷像担持体に露光して静電荷像を形成し、静電荷像をトナーを有する現像剤で現像、可視化し、形成された可視像を中間転写体を介して或いは介さずに転写材上へと転写し、転写された可視像を定着手段によって転写材上に定着して定着画像を形成する画像形成方法において、

該トナーは、請求項1乃至4のいずれか1項に記載のトナーであることを特徴とする画像形成方法。